

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121406			
科目番号 /Course Number	10160279			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義：Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の防災と府民：Disaster Prevention and People in Kyoto Prefecture			
担当教員名 / Instructor(s)	/登谷 伸宏/阪田 弘一/他：TOYA Nobuhiro/SAKATA Koichi/etc.			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	講義の一部は、災害支援ナースとして訓練を受けた現職看護師、ならびに建築設計事務所にて設計業務に従事した教員が担当しており、これらの業務経験を活かした講義を行う。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1240			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害など、個人では対処できない被害の脅威にさらされている日本において、防災、減災、生活再建、地域復興などの被災がもたらす問題の解決は公共政策の重要な課題である。これらの防災関連の対応策は、ハードからソフトまでを含む広い領域にわたる。防災はまさに学際的な領域であり、この授業は授業計画が示すように、災害の歴史、木造文化財の耐震、防災地図情報、災害時の看護、災害対応政策などの多彩な内容で構成される。京都府は、由良川や淀川水系の河川氾濫、花折断層、山田断層など多くの活断層、あるいは福井県原発など、災害が府民にとって身近な問題であり、阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓がどのように生かされるかは重要である。この授業は、学際的な視点から自然災害の脅威とそれへの対応策を知る機会を学生に提供し、学生自らが考える契機となることを目標としている。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	京都の防災と京都府民 松岡（府立大公共）
	英		
2	日	第 2 回	災害情報と行政の対応策への人々の意識 村山（立命館大学地域情報研究所）
	英		
3	日	第 3 回	日本の復興・減災の災害対応策 松岡（府立大公共）
	英		
4	日	第 4 回	災害の広域対応としての公務員派遣やボランティア 松岡（府立大公共）
	英		
5	日	第 5 回	近世京都の大火と消防・建築 1 登谷（工繊大）
	英		
6	日	第 6 回	近世京都の大火と消防・建築 2 登谷（工繊大）
	英		
7	日	第 7 回	災害看護論 1（災害時の医療と看護） 滝下（府立医大看護）
	英		
8	日	第 8 回	災害看護論 2（災害時の健康・生活支援） 滝下（府立医大看護）
	英		
9	日	第 9 回	木造建築と防災 1 田淵（府立大環境デザイン）
	英		
10	日	第 10 回	木造建築と防災 2 田淵（府立大環境デザイン）
	英		
11	日	第 11 回	原発災害の住民避難政策 村山（立命館大学地域情報研究所）
	英		
12	日	第 12 回	自主防災計画の策定 三好（府立大森林）
	英		
13	日	第 13 回	災害と避難所・仮設住宅 阪田（工繊大）
	英		
14	日	第 14 回	京都の治山・治水と災害文化 三好（府立大森林）
	英		
15	日	第 15 回	総括と学生からのフィードバック 松岡（府立大公共）・田淵（府立大環境デザイン）
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	なし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	多様な授業内容で構成されているので、復習をしっかりと試験に臨む必要がある。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	なし。授業中に適宜プリントを配布する。 次の参考書が役立ち、その他は授業中に知らせる。 塩崎賢明『復興<災害>—阪神・淡路大震災と東日本大震災』岩波書店、2014 年 松岡京美・村山徹編『災害と行政—防災と減災から—』晃洋書房、2016 年 津久井進『大災害と法』岩波書店、2012 年
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	定期試験
	約 2 5 カ所の解答欄への選択解答の方式で、選択肢のないゼロ解答も含む試験を行う。簡単な記述を求める場合もある。
英	
留意事項等 Point to consider	
日	
英	